

編集後記

師匠も走る十二月、今年も残すところ僅かとなりました。中華圏では、年末には『年』という獣が現れるといい、赤い色や派手な爆竹の音で追い払う風習があります。

だからというわけではありませんが、先日、追い立てられるような衝動に襲われ、思い立ったら今でしょと一人台北へ行ってきました。二泊三日の弾丸旅行でしたが、思わぬ人と出会うなど、絶妙なタイミングでした。

台北火車站のクリスマスツリーに迎えられた初日、この時期に必ず食べたくなる薑母鴨（生姜鴨鍋）を目指したところ、すでに店がないという台湾ならではの約束に見舞われながら、翌日に行った人気の火鍋店とマッサージでは、最敬礼のお辞儀やお客様アンケート等々、以前にないおもてなし意識に驚かされました。かと思えばご飯片手に接客する売り子さんも依然いて、これはこれでホッとするのだから不思議です。最終日には行列のできる阜杭豆漿に並び、モーニングのはずがうっかりランチになりつつ、食後に師大周辺を散策。店の顔ぶれがすっかり変わっており、2年がかりで作成した私的グルメ MAP は大幅な修正が要されることとなりました。

新しい発見もあります。今回泊まったのはできたばかりの個室型ドミトリーで、便利な立地と清潔な設備に加え、ロビーでは飲料が無料で飲み放題と、なかなか快適でした（隣人の鼾やアラームは筒抜けですが）。また最近新たに開通した MRT 信義線が記念で一ヶ月間は運賃タダというので、用もないのに乗ってみました。新型のバスも登場し、以前は前扉にしかなかった IC カード機が後扉にも付くなど、どんどん進化していています。

日々変化する台湾は、何度行っても新鮮さがあるって飽きません。反面、追いかけるので精一杯で、毎回攻略を試みるのですが、大概倍返しで宿題を持ち帰ることになっています。来年こそは『馬到成功』と願いたいものです。

それでは皆様、どうぞ良いお年を。

(N.M)

